

お知らせ



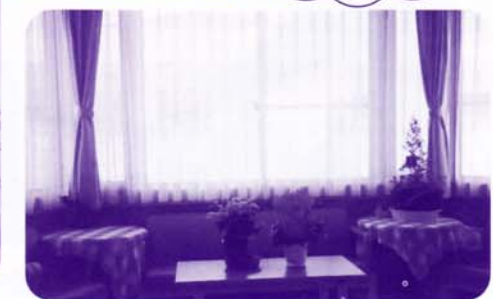
平成18年12月15日
財団法人郵政福祉
様より車椅子(一台)
をいただきました。
大切に使用して
いただきます。ありが
うございました。



絵画や季節ごとの飾り付けで 快適な生活空間を提供!!



園内
至るところに
絵画を展示
しています。



二重カーテンで
いつも
ぬくぬく!!



右の部屋は
利用者様専用
喫煙室に
なっています。



共にみんなで生きる 地域社会をめざして

白鷹町健康福祉課長 新野 吉彦

昨年の今頃は社会福祉と言
うよりは、トリノオリンピックピ
ックで県出身の加藤条治選手の
金メダルへの期待や荒川静香
選手の金メダルに大きな拍手
を送っていた頃である。私自
身、これまでの大半を建設行
政に携わってきたこともあり、
健康福祉課長職は戸惑いの中
での出発で始まり、福祉と暮
らし、共に生きるということ
を改めて考え見つけ直す機会
となった。

町の高齢化率が30%に迫る
中で、地域が育んできた「共
に助け合い生きる」というこ
とを、今こそもう一度考える
時期に来ているのではないだ
ろうかということ、実感とし
て感じている。高齢にあつ
ても地域社会の中で活躍して
いる人はたくさんいますし、
障害を持つている人も出来る
ことで社会貢献しようとする
姿は昔も今も変わっていない
のである。健康を維持しなが
ら高齢者も、障害者も元気に
活躍することが、これからの
地域社会を形成していく上で
大きな力となる。

介護保険制度も持続可能な
制度として定着していくため
の制度改善が進められ、負担
とサービスのバランスの中で、
負担を許容いただきながら介
護が必要な人に対して支援を
していくことが私たちの役目
であります。新たな介護保険
では、介護プラス予防に重点
を置いています。自分の健康
は自分で守るということ、基
本としながらも、家族がそれ
を支援し、家族で解決できな
いことは地域の人々と力を合
わせて自立する環境を整えて
いくことが大切になります。
それでも解決できない部分を
施設介護がサポートすること
となります。家にいるような
安心感の中で穏やかに暮らせ
るよう、白光園の職員の皆さ
んが日々努力をしている姿に
は頭の下がる思いです。それ
は他の入居施設、通所施設に



ついても同様であります。自
立が難しくなっても、個人の
尊厳を重んじ家族の絆を大切
にすることで、施設と家族の
信頼関係を深め、より良い介
護につなげて行きたいもので
す。
この町でみんなが共に生き
るを原点到に社会福祉の向上に
取り組み、この町に住んで良
かったという町づくりを進め
なければと思う昨今でありま
す。